

3歳児の知能診断 チェックシート

保護者用

松本敏史
教育デザイン研究所

この「3歳児の知能診断チェックシート」は、簡単に幼児の知能面の発達診断ができるように、専門的な発達検査等をもとに教育デザイン研究所が制作いたしました。

これは、保護者の方に質問に答えていただいで採点する方式の質問シートです。

※ 3歳児とは3歳0カ月～3歳11カ月の幼児です。

この「知能診断質問シート」には、幼児の生活の中での具体的な行動についての質問が30問あります。

30問の質問には、その年令でほとんどの幼児ができるようになる事象に関する質問と、その年令の1才上でできるようになる事象に関する質問の両方が含まれています。

質問は、言語・常識・数量・図形・巧緻性という知能開発の5つの分野の内容を取りあげています。

保護者の方が、これらの質問について、お子さまにあてはまるかどうかを、「はい」か「いいえ」かのどちらかで答えて下さい。

30問全部回答がすみましたら、「はい」1つを1点として、合計点を出して下さい。

最後のページに「点数の診断基準」や「診断結果の活用」について書いております。

次から 30 問の質問ページです。

制限時間などはありませんのでゆっくり考えてください。

「はい」1つを1点として、最後に合計点を出して下さい。

父母の名前を聞かれたら、
父母の姓と名を言えますか。

経験したことを、他の子に
話すことができますか。

「それでね. . .」のような
接続語を使って話しますか。

「～だから～なった」
のように理由づけて
話すことができますか。

自分のことを「ぼく」
「わたし」と言えますか。

本、紙芝居、テレビ、
ビデオなどで、内容の
面白さが分りますか。

看板やホームの駅名などの
ひらがなに興味を持ち、
読み方を尋ねますか。

名前のはじめに「あ」がつく
ことばを、言えますか。

友だちと順番に遊具を
使うなどして、仲よく
遊べますか。

赤、青、黄、緑などの色と
その名前がわかりますか。

じゃんけんができ、
勝ち負けがわかりますか。

いろいろな曜日があることを
知っていますか。

「親指」など指の名前を言われると正しく指差しますか。

動物・乗り物・野菜・果物が
どんなものかわかりますか。

まる、さんかく、しかくという
形の名前がわかりますか。

「机の上（下）」のような
上下の位置がわかりますか。

前、後、左、右が
正しくわかりますか。

いくつかの2つに分かれた絵を、
うまくあわせて完成することが
できますか。

20ピースぐらいのジ
グソーパズルを
ひとりで、できますか。

「3つ」の数わかりますか。

1 から 10 まで順番に
数を言えますか。

1 から 10 までの
数字を読めますか。

5 以下のものの数を
きちんと数えられますか。

1 から 30 まで順番に
数を言えますか。

時計を見て、何時か
興味を持ちますか。

積み木で、何かを作ること
ができますか。

画用紙いっぱいには絵をかいて
色をぬれますか。

人の顔らしきものをかきますか。

はさみで紙を切ることが
できますか。

紙にのりをつけて貼る
ことができますか。

以上で質問は終わりです。合計点数を出してください。

点数の診断基準

15点 3歳児としての標準点です。

10～15点

同じ「3才」でも、3才0カ月から3才11カ月までの幅があります。幼児の月齢に応じて10点から15点ぐらいの間であれば、年齢相応の知能レベルだとお考え下さい。

15点以上

3歳児の標準以上の知能レベルです。

診断結果の活用について

このチェック表は、テストのようにお子さまを「できる子」と「できない子」に振り分けるためのものではありません。

お子さまの知能面での発達が、標準レベルに達しているかどうかを判断する一つの材料として、このチェック表の診断結果を活用していただきたいと思います。

これにより、お子さまが今「できること」と「できないこと」がはっきりしたわけですから、今回「いいえ」であった質問項目については、今後1年間ぐらいい目安に、「はい」となるように、お子さまの成長を見守って行ってあげてください。

お子さまが「できないこと」というのは、その部分での発達が遅れていてできないというより、「あまりやったことがないからできない」という場合が多いです。

お子さまが苦手なことについては、おうちの方が積極的にはたらきかけて、お子さまにいろいろなことを経験させてあげてください。

たとえば、話すことが苦手なお子さまには、おうちの方がうまく声をかけてあげながら、お子さまが話をする機会をたくさん作ってあげましょう。

また、お子さまが言いたりなかったことを、言葉を足して言い直してあげるとよいでしょう。

文字の読み書きや数のあつかいについては、ふだんの生活の中で、お子さまが少しずつ文字や数に興味を持つように、おうちの方がはたらきかけてあげることが必要です。

また、日頃からお子さまと一緒に絵本や図鑑を見る機会を
持ったり、積み木やブロックなどで遊ぶ機会を増やしてあげ
たり、はさみ・のり・クレヨン・鉛筆を使って一緒に遊んで
あげたりすることも大切です。

**最も効果的なのは、楽しい遊びの一つとして、知能開発のプ
リント教材をおうちの方と一緒にされることです。**

おうちの方と一緒に楽しく取り組むと、お子さまはいろいろな
ことをどんどんできるようになっていきます。

教育デザイン研究所が企画制作しました「**すくすくどんどん**」は
幼児の知能開発プリント教材として、国内外の多くの教室、幼稚園、
ご家庭で利用されてきました。

[ホームページで教材のサンプルをダウンロードして、お試しください。](#)

(<https://it-contents.com/3age/sukudon-3/>)

「3歳児の知能診断チェックシート」

著作：松本敏史（教育デザイン研究所）
大阪府南河内郡千早赤阪村小吹68-115
制作日：2018年5月29日

※著者に断りなく転載されることを禁じます。